



れんげり



松江赤十字病院 眼科部の紹介



眼科部長
北川 清隆

高梨部長の後任として7月1日付けで赴任いたしました。これまで富山大学大学院医学薬学研究部眼科学講座で准教授として臨床、研究を行っておりましたが、このたび縁あって、富山から松江に参りました。どうぞよろしくお願ひいたします。今回はせっかくの機会ですので、松江日赤眼科部の紹介をしたいと存じます。8月現在の眼科医師数は常勤が4名、非常勤が1名の総勢5名で診療を行っております。メンバーは部長の私、副部長の三原悦子先生、副部長の佐々木満先生、眼科部医師の莊司琢郎先生と非常勤の勝本武志先生です。島根県も医師不足ですが、眼科医師も当然ながら不足しており、特に病院勤務医が極めて少ないように思われます。しかしながら、松江日赤眼科になんとか地域眼科医療を支えるための最低限の人員が確保できているのではないかと思っております。私が、網膜硝子体手術を中心として担当しており、三原医師は、白内障や小児眼科（斜視手術、未熟児網膜症のレーザー治療）を得意とし、佐々木医師は、白内障や緑内障手術を得意としております。勝本医師も白内障手術を得意としております。残念な

がら莊司医師はこの9月から地元に近い青森県中に赴任されることとなりました。今後のあらたな眼科医師の確保が望まれます。

当科では、角膜疾患から網膜硝子体疾患まで幅広い眼疾患に対応できる体制を整え、とくに7月からは小切開硝子体手術も行えるようになり、手術侵襲がより少ない方法で網膜疾患の手術治療が可能となりました。また、8月より加齢黄斑変性に対する抗VEGF抗体の硝子体内注射も施行できるようになりました。さらに松江地区では従来行えなかったアバスチンの硝子体内注射が倫理委員会の承認のもとによく開始できるようになりました、網膜静脈閉塞症や新生血管緑内障などの治療成績も向上するものと期待しております。また、眼科検査機器、手術機器や器具の更新も認めていただき何とか今日の眼科医療の進歩に遅れないように設備面でも充実しつつあるところです。もう2、3の診療機器が揃うと完璧なのですが、それは今後のがんばり次第でしょうか。

当院の眼科は、島根県東部地区の地域眼科医療に貢献しなければなりません。そのためには、より新しい治療法の導入も常に視野に入れ、地方においても一定レベル以上の診療が行えるように常に努力していくたいと考えております。何卒ご協力ご指導のほどよろしくお願ひいたします。

新任医師紹介 小児科



内田由里 7/12～

7月に出雲市から赴任してきました。新生児・小児領域で地域のみなさまの支援をお手伝いできたらと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。



小池大輔 6/1～

6月より小児科採用となりました、小池大輔と申します。子供達と御両親の笑顔のために頑張りたいと思います。よろしくお願ひいたします。

新病院建設

進捗状況



「松江がん医療地域連携フォーラム2010」を開催して

去る、平成22年7月9日「松江がん医療地域連携フォーラム2010」を松江圏域でバスの運用を開始するための「キック・オフ」と位置づけ、島根県民会館中ホールで開催しました。

平成20年3月厚生労働省から、がん診療連携拠点病院の指定要件として「平成24年までにわが国に多いがん（5大がん）について地域連携クリティカルバスを整備すること」が明記されました。それを受け、松江医療圏域でがん地域連携クリティカルバスを普及させていく上では松江市立病院と共にフォーマットが必要となりました。

そこで、今回のフォーラムは、当院独自の開催ではなく、松江市立病院と共に開催しました。当日は、医療関係者ら約200名の参加を得て、開催することができました。



循環器内科からのお願い



- * 紹介は、医師の指定がある場合でも、当日の診療の込み具合から、別の医師の診察になることがありますので、ご承知おきください。
- * 事前の紹介は検査などの関係上、10時くらいまでの時間で予約をお願いいたします。

第7回 地域連携交流会を行いました



平成22年8月6日(金)19:00～ ホテル一畠にて地域の開業医の先生方をお招きして、第7回地域連携交流会を実施いたしました。

開業医の先生方53名、松江赤十字病院医師44名の参加でした。

今年は、「地域医療連携」をテーマとし、初めて開業医の先生方からのご発表をいただき、当院の副院長浜本からは、院内の医師に対して行ったアンケートの結果を発表させていただきました。皆様に討論していただく時間が十分とれず、ご迷惑をおかけしました。ご意見等ございましたら、地域医療連携課までご連絡ください。



地域医療勉強会

～看護師さんあつまれ～

実施報告

第5回 「人の命を守る方法～患者の急変に備えて」

- 平成22年
6月2日(水)
3日(木)
-
-
-
-
-
-

参加者 59名 (1日目22名、2日目37名)

救急看護認定看護師（中筋真紀）によるAEDの使い方、心肺蘇生法を中心とした講義を行ないました。研修後、一部の方にAEDに触れたり蘇生練習用の人形で蘇生法の練習をしてもらいました。



第6回 「糖尿病とのつきあい方

～患者さんの自己管理能力アップを目指して～

- 平成22年
8月18日(水)
19日(木)
-
-
-
-
-
-

参加者 40名 (1日目17名、2日目23名)

糖尿病療養指導士（鳥谷幸子・吉岡かおり）による指導の実際を説明しました。松江糖尿病対策会議作成の地域連携パスを紹介しました。



研修会等のご案内

松江赤十字病院 集談会

9/21
火

19:00～ 松江赤十字病院 別館多目的室

演題

「肺サルコイドーシスと肺小細胞癌を合併した一例」

ミニレクチャー

「脳梗塞の治療」～t-Pa療法の現状について～

研修医 泉 大樹

神経内科副部長 福田 弘毅

第4回 地域医療従事者スキルアップセミナー

9/25
土

14:50～18:20 くにびきメッセ 1階 多目的ホール

「聴けばわかる褥瘡のすべて」

- 褥瘡を取り巻く最近の動向
- 最近の褥瘡治療
- 在宅における褥瘡ケア
- ポジショニング

形成外科部長 安楽邦明

形成外科医師 今村禎伸

皮膚・排泄ケア認定看護師 石飛仁美

理学療法士 田中真紀子

松江赤十字病院「緩和ケア基礎コース研修」

10/20
水17:15～18:45 多目的室
症状マネジメントIV

- 事例から学ぶ全人的苦痛への援助

緩和ケアアドバイザー研修修了生 看護主任 名原 加寿子

11/17
水17:15～18:45 多目的室
がん患者の心理

- がん告知や治療経過で体験する患者・家族の
心理状態に応じた精神的支援を学ぶ

看護師長 月坂美智代

12/15
水17:15～18:45 多目的室
研修のまとめ

- 実践に活かせるよう、研修のねらいにそって
学びを整理する

緩和ケア部会研修担当者

外来糖尿病教室

9/22
水

10:00～13:30 松江赤十字病院 厚生棟会議室

「合併症を防ぐために」

- 糖尿病性腎症徹底研究

糖尿病・内分泌内科部長 佐藤利昭

- 食事療法のコツ③

管理栄養士（糖尿病療養指導士）安原みづほ

- 透析センターってこんなところ

透析センター看護師長 中島富江

食事会「身体をいたわる減塩メニュー」／体験談「マイペースで頑張ってます」

すこやか会会員

11/24
水

10:00～13:30 松江赤十字病院 厚生棟会議室

「糖尿病と他の病気
との関連をさぐる」

- がんと糖尿病

糖尿病・内分泌内科副部長 垣羽寿昭

- 食事療法のコツ④

管理栄養士（糖尿病療養指導士）引野義之

- だれにでもできる簡単ストレッチ Part 2

病棟看護師（糖尿病療養指導士）

健康医学講座

9/29
水

14:00～15:30 松江赤十字病院 厚生棟会議室

「安静の落とし穴～廐用症候群について～」

リハビリテーション科部長 笠木重人

10/27
水

14:00～15:30 松江赤十字病院 厚生棟会議室

「診断学入門～医師はどのようにして診断しているのか～」

総合診療科部長 大居慎治

11/18
木

平成22年11月18日(水) 14:00～15:30 松江赤十字病院 厚生棟会議室

「抗がん剤治療の副作用に負けないために
～患者さんとご家族へのアドバイス～」

乳腺外科副部長 曙野肇

第7回 地域医療勉強会～看護師さん あつまれ～

11/17
水11/18
木

14:00～15:00予定 松江赤十字病院 別館多目的室

「感染について」

感染管理認定看護師 角紀子

地域連携課の
ニューフェイス

清水 尚子(8/2～)

よろしく
お願い
します。

松江赤十字病院 地域医療連携課

〒690-8506 松江市母衣町200番地

TEL 0852-32-7813 FAX 0852-27-9261